

### <宗教活動の歴史を通じて日露関係を考える>

## 東方正教会のミッションと非正教アプローチ：明治時代の記録から分かる日本における正教会活動

日時：12月10日（月）14時40分～16時10分

場所：静岡県立大学草薙キャンパス国際関係学部棟1階 3106 講義室

講師：Olga PUZANOVA 氏

### 講演内容：

年明けにも安倍首相が訪ロし、首脳会談が行われることになっています。この中で北方領土が返還されるのか、平和条約が締結されるのか、といったことににわかに注目されています。こうした政治的な話題が多い日露関係ですが、宗教という観点からみると意外な側面が見えてきます。

東京のお茶の水にあるニコライ堂は、1891年、つまり明治時代に建築されたものです。ニコライ堂は、日本正教会の中心であり、古くから日本に正教会が根付いていたことが分かります。静岡市内にも静岡ハリストス正教会（聖堂）がありますし、伊豆修善寺にも聖堂があります。日本各地に正教会の聖堂があることに気が付きます。

ロシア正教は明治時代に布教活動が始まりました。日露間の対立が深まるその時代にどのように根付いていったのか。その歴史的な変遷から宗教と民衆の関係を考えることが出来ます。明治時代のロシア正教徒の女性信徒が発行した刊行誌からは、当時の様子がうかがえます。当時の歴史的な文献の解釈を進めているオリガ氏より、日露関係の歴史的なつながりを考えていきたいと思えます。

### Olga PUZANOVA 氏プロフィール：

モスクワ国立国際関係大学・国際ジャーナリズム学部卒業後、オックスフォード大学大学院・日産日本問題研究所で修士号を取得、現在、オックスフォード大学の Wolfson College に在籍しながら、ロシアの国立研究大学高等経済学院（Faculty of World Economy and International Affairs;）で講師を務める。

\*本イベントは「ロシア社会論」（堀内賢志先生）の講義の枠ならびに広域ヨーロッパ研究センター・経営情報イノベーション研究科の特別講義の一環として行います。

### お問い合わせ先：

経営情報学部 上野雄史

電話：054-264-5241

E-mail：ueno（ここに@を入れてください）u-shizuoka-ken.ac.jp